

整備効果①

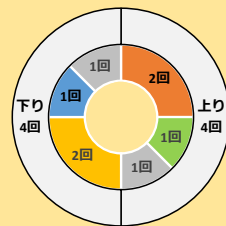
災害通行止め時などのダブルネットワーク機能のさらなる発揮

- ▶ 名古屋・伊勢ランプウェイの完成により、新名神と東名阪道のダブルネットワークがより充実
- ▶ 事故や災害による通行止め時には迂回が可能となり、リニューアル工事などでの交通規制による渋滞も低減

事故や災害による通行止め時には迂回が可能



■ 通行止めの発生回数 (2014年～2018年)



東名阪道・亀山JCT～四日市JCT間では、2014年～2018年の5年間に8回*の通行止めが発生

■ 交通事故 ■ 車両火災 ■ 雨 ■ 路面積雪 ■ その他

※工事による通行止めを除く
※通行止め区間が対象区間外まで及ぶ場合を除く

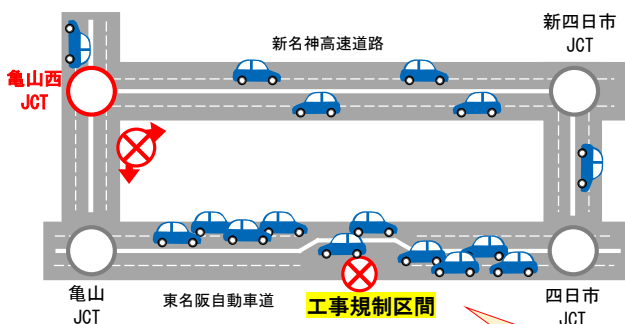
< 復旧工事による渋滞の発生状況 >



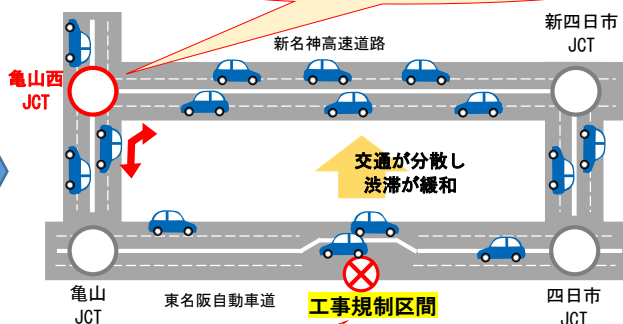
※亀山JCT付近の切土のり面崩落時の復旧工事による渋滞(2010.5)

リニューアル工事などでの渋滞が低減

ランプウェイ【完成前】



ランプウェイ【完成後】



新名神が代替路として機能

交通が分散し渋滞が緩和

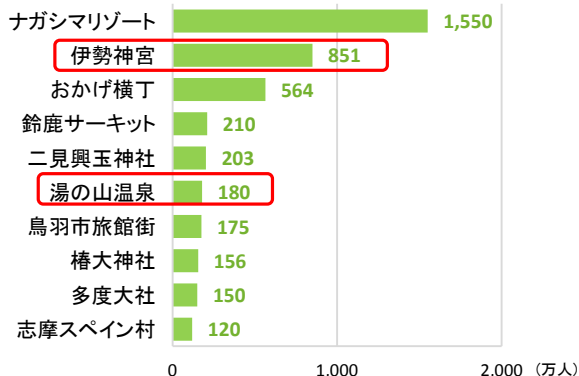
大規模な渋滞の場合は新名神への迂回を案内

- ▶ 名古屋・伊勢ランプウェイの完成により、新名神沿線市町と伊勢方面との移動がスムーズに
- ▶ 御在所ロープウェイ・湯の山温泉から伊勢神宮への所要時間が9分短縮

湯の山温泉(菟野町)～伊勢神宮の所要時間の変化



■三重県内の観光入込客数ベスト10(2018年)



出典：三重県平成30年観光レクリエーション入込客数推計書

■湯の山温泉⇄伊勢神宮

約9分短縮

● 現況：80分（距離104km）



● ランプウェイ完成後：71分（距離103km）



※所要時間はETC2.0プローブ情報による実績値
 (2019年6月17日～30日の休日の昼間12時間の平均旅行速度)
 ※新名神(新四日市JCT～亀山西JCT)は100km/hとして算定

菟野町役場の声



新名神（三重区間）が開通した時から、地元の方は、伊勢方面をつなぐランプウェイの完成を今か今かと楽しみにされていました。
 湯の山温泉～伊勢神宮ルートの観光旅行も多いので、新名神を利用して伊勢方面に行けるようになると時間短縮になり便利になります。

- ➡ 現況ルート
- ➡ ランプウェイ完成後ルート